

6月邦楽「現代邦楽名曲選」全出演者プロフィール

秋庭歌

■中村華子

国立音楽大学音楽学学科卒業。笙を宮田まゆみ、多忠輝、楽琵琶を中村かほる、雅楽合奏を芝祐靖の各氏に師事。2006年度文化庁新進芸術家国内研修生。「伶楽舎」メンバーとして活動する他、「雅楽三昧中村さんち」、笙のトリオ「Shogirls」などのユニットを結成し、雅楽の魅力を伝えている。雅楽以外の楽器や映像、エレクトロニクス等他ジャンルとのコラボレーションの機会も多い。2018年9月には、韓国のEnsemble TIMFの招きでソウルに赴き、細川俊夫作曲「Landscape V」、藤倉大作曲「Breathing Tides」をTIMFメンバーと共演した。



■鈴木絵理

国立音楽大学鍵盤楽器専修卒業。雅楽合奏を芝祐靖氏、箏・左舞を大窪永夫、中村仁美両氏に師事する。伶楽舎メンバーとして、国内外の演奏会に出演、小学校等のワークショップなども行う。近年、伶楽舎若手メンバーによる「倫遊会」を結成し、<古典の継承と再発見><新しい作品の創造>という2つの目標をかかげて活動中。



■伊崎善之

東京都出身。高校入学時より雅楽を始め、東京藝術大学音楽学部邦楽科を卒業。在学時に横笛を越後眞美氏、古代歌謡を東儀政雅季氏、左舞を岩波孝昌氏に、卒業後に横笛を芝祐靖氏に師事する。雅楽演奏グループ「伶楽舎」に所属。

これまでにアメリカ、イギリス、フランス、中国、韓国をはじめ、国立劇場(雅楽公演・声明公演)、文化庁舞台芸術国際フェスティバル、サイトウキネンフェスティバルなど国内外の数多くの公演に出演。映画「源氏物語 千年の謎」「瀬戸内海賊物語」やアニメ「平家物語」など多数のレコーディングに参加するなど、横笛奏者として幅広い演奏活動を展開している。また、小学校・博物館などの教育機関などへの指導・演奏も行っている。



■角田眞美

熊本県生まれ。東京音楽大学フルート専攻卒業。在学中に芝祐靖氏の龍笛演奏に感銘を受け、卒業後に教えを仰ぐ。1990年より国立劇場等における雅楽公演に出演し、雅楽による現代作品の初演に多く携わる。1994年より「伶楽舎」のメンバーとして国内外での演奏活動を行う。これまでに、ドナウエッシンゲン音楽祭、ウィーンモデルン音楽祭、オスロ現代音楽祭、ミュージック・フロム・ジャパン音楽祭、パリオペラ座バレエ団公演伴奏、等に出演。「雅楽トリオ千歳」ではドイツ、オランダ、ルクセンブルクで演奏。また、文化庁の芸術家派遣事業他、小中高校生を対象としたワークショップ、レクチャーコンサートに毎年参加している。



■野護元

大分県出身。11歳より龍笛を始める。横笛演奏を芝祐靖氏に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科雅楽専攻にて、横笛、左舞、古代歌謡、琵琶、鼓類などを修め卒業。芸大在学中に安宅賞、卒業時にアカンサス音楽賞、同声会新人賞の各賞を受賞。NHK・Eテレ「にっぽんの芸能 多彩な笛の世界」放送回で雅楽の横笛を紹介した他、国内外の公演・放送に出演。雅楽演奏団体「伶楽舎」所属。



■中田大梧

東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。3歳より母・野田美香の影響で生田流箏曲を始める。17歳より地歌三絃・生田流箏曲を帯名久仁子氏に師事。平成18年度 フランス大使館などの後援による「日仏芸術文化協会派遣・日仏こども音楽隊フランスコンサート」に参加。平成30年度 宮城道雄記念コンクールにて地歌『残月』で第二位受賞。平成30年度 東京藝術大学 藝術祭において、自主企画演奏会『OKOTO』。平成31年度「okoto?」を主催しそれぞれ満員御礼の好評を博す。平成30年度 NHK紅白歌合戦にて石川さゆり氏のサポートで、『天城越え』に十七絃箏で参加。宮城会教師。



■八木千暁

雅楽の横笛、合奏を 元宮内庁楽部楽長の上近正氏、元宮内庁楽師、日本芸術院会員の芝祐靖氏に師事。雅楽グループ「伶楽舎」に所属し、古典雅楽、廃絶曲の復曲、正倉院楽器の復元演奏、現代作曲家への委嘱作品など、幅広い演奏活動に取り組んでいる。1994年八ヶ岳高原音楽祭より「秋庭歌」の打楽器を担当するようになり、1996年のアメリカツアー、2001年サントリーホール公演等に出演している。



■笹本武志

茨城県日立市出身。琴古流尺八家元・竹韻社の家系に育ち、東京芸術大学卒業、同大学院修士課程修了。大学在学中に芝祐靖氏に雅楽を学び、これまで世界30か国以上で演奏活動を行う。また、正倉院宝物の排簫と尺八の製作と演奏を独学で学ぶ。鳴りにくい古代の笛に対し、上半身全体を共鳴体化させる「ボディーボックス奏法」を開発し、古代の楽器に新たな息吹を与えている。主な著書に「はじめての雅楽」（東京堂出版）、CDに作曲作品集I「江戸小町」、作品集II「万歌集」がある。ムサシノ雅楽教室・北区子ども文化教室・雅の会ふくしま・NYコロンビア大学雅楽プロジェクト等の講師を務める。伶楽舎所属。



■北村茉莉子

国立音楽大学ピアノ科卒業。在学中より雅楽を学ぶ。笙を宮田まゆみ、多忠輝、左舞・楽箏を中村仁美、雅楽合奏を芝祐靖各氏に師事。雅楽演奏団体「伶楽舎」に所属し、サイトウキネンフェスティバル松本(2012)、NHK教育TV「スコラ坂本龍一 音楽の学校『日本伝統音楽』編」、文化庁「こどものための文化芸術体験事業」に参加する等、様々な活動を行っている。



■三浦礼美

国立音楽大学卒。笙を宮田まゆみ、豊英秋各氏に、雅楽合奏を芝祐靖氏に師事。「伶楽舎」の一員として国立劇場、サイトウキネンフェスティバル松本、サントリーサマーフェスティバル、ULTIMA 音楽祭等、国内外の公演に多数出演。2010年パリオペラ座、2012年モントリオール グランバレエにてバレエ「輝夜姫」公演に出演。2015年にはフランクフルトにてアンサンブルモデルンと共演。笙3人のユニット Shogirls を結成し 2012年より毎年公演を行っている。近年は学校公演事業にも力を注ぐ。NHK 邦楽番組出演の他、TV、CD 等の録音も多数。ムサシノ雅楽教室、雅の会ふくしま講師。



■東野珠実

国立音楽大学作曲学科首席卒業。慶應義塾大学大学院政策メディア研究科修了・義塾長賞受賞。ISCM、ICMC、国立劇場作曲コンクール第一位/文化庁舞台芸術創作奨励特別賞、日本文化芸術奨励賞、上毛音楽賞等受賞。雅楽を芝祐靖、豊英秋、宮田まゆみに師事し、平成元年より国立劇場主催公演はじめウィーンモデルン、タングルウッド音楽祭、NHK にっぽんの芸能など国内外の主要な企画に参加。また、JAXA、Yo-Yo MA、坂本龍一、田中泯らに招聘され、正倉院復元楽器からマルチメディアアートに至る創作・演奏を通じ多彩な活動を展開。雅楽演奏団体伶楽舎、現代邦楽作曲家連盟所属。星筐 Hoshigatami の会主宰。



■五月女愛

国立音楽大学作曲学科卒業。笙を宮田まゆみ、多忠輝の両氏に師事。2011年より、雅楽演奏団体「伶楽舎」のメンバーとして国内外での演奏会に参加。雅楽古典曲・現代曲の演奏や小中学校でのワークショップ等、様々な演奏活動や講師としての活動も行っている。



■ 國本淑恵

東京藝術大学音楽学部邦楽科雅楽専攻卒。箏を三浦進氏、高桑賢治氏、東儀秀樹氏に師事。右舞を豊英秋氏、多忠輝氏、松井北斗氏、歌物を東儀雅季氏、松井北斗氏に師事。卒業後、「伶楽舎」に所属し、国立劇場、紀尾井ホール等の公演に出演。スーパー歌舞伎II「新版オグリ」、ゲーム音楽「モンスターハンターライズ」(カプコン)のレコーディング、文化庁学校公演にて小中学校で演奏、演奏協力の他、Tim Hecker ワールドツアーに参加。幅広く箏を指導、雅楽の普及に努めている。目白浄清楽箏講師。NHK文化センター町田教室箏講師。武蔵野楽器箏講師。雅楽団体「伶楽舎」所属。



■ 中村仁美

東京藝術大学大学院音楽学専攻修了。在学中に雅楽と出会い、箏、楽箏、左舞、古代歌謡等を芝祐靖氏、大窪永夫氏、上明彦氏、豊英秋氏などに学ぶ。雅楽演奏団体「伶楽舎」メンバーとして活動するほか、リサイタルで箏独奏曲やアンサンブル曲を多数委嘱初演し、ソロ楽器としての箏の魅力を開拓している。また小編成ユニットとしては、「雅楽三昧中村さんち」で雅楽の楽しさを伝える公演を各地で行い、「雅楽トリオ千歳」では国内外で現代作品を演奏している。2010年松尾芸能賞新人賞を受賞。国立音楽大学、沖縄県立芸術大学、国際基督教大学非常勤講師。



■平井裕子

千葉県に出身。東京藝術大学音楽学部楽理科に入学。楽理科の「雅楽」の授業で芝祐靖師と出逢い、横笛(神楽笛・高麗笛・龍笛)を中心に学ぶ。また卒業後は、大窪永夫師に楽箏を師事する。雅楽演奏団体「伶楽舎」のメンバー等として、国内のほか、ヨーロッパ、アメリカ、韓国、キプロスなどで、演奏会や録音を行ってきた。自身の主催する「平井裕子横笛演奏会」も、これまでに6回行っている。



■田口和美

2003年に雅楽と出会い、龍笛を笹本武志氏に師事。2009年より雅楽演奏家として国内外で活動。演奏活動の傍ら、横笛製作を田中敏長氏に師事し、龍笛や篠笛などの製作も手がける。伶楽舎所属。北楽会、巴雅楽会、花伊那藩雅楽教室講師。

